



防災会だより

第50号 発行 2017.02.20

発行責任者：防災会 行正龍昭

1、2016年度活動のまとめ

組織簡素化のため、これまでの自治会退役班長を含めて98名の防災会員から、今年度は24名体制とし、現自治会班長を防災会員とみなして活動した(班長全員に地域ごとに色分けしたヘルメットを貸与した)防災訓練を3回実施したが参加人数はこれまでとほぼ同規模であり、当事者意識が高かった

前年度からの業務引き継ぎを円滑にするため、次長、次長補、隊長、会計による防災分科会を月1回設け8月、12月は役員、常任者全員の参加とし、活動報告と計画徹底のための予定の連絡を行った

安否確認、救出訓練については机上検討にとどまった

2、防災訓練

9月10日 防災訓練(放水訓練) 東公園

市消防本部、16消防分団の指導による放水訓練を受けた

晴天 住民約30名参加

消火栓からの放水訓練



放水ポンプの操作訓練

消火器操作訓練

9月17日 防災訓練(総合訓練) 南公園

晴天 53名参加

消火訓練として水消火器を用いて操作法説明の後、参加者全員が「まと」に向けて放水した、20秒ほどの中での的確に消火する必要があります

裏へ



搬送訓練として担架、車いす、リヤカーを用いて行いました

担架は棒担架（下の写真）、布担架、などあるが屋内では小廻りのきく布担架が良いので補充している

車いすでは松風台内を一周する途中、広域避難場所であるゴルフへの入り口の確認を行いました



11月20日湘北地区防災訓練（消火、搬送、トイレ組み立てなど）鶴が台中学校

地区全体で約400名、松風台は45名参加した

松風台は防災リーダーが昨年に続き搬送訓練を担当し、棒担架、布担架、応急担架などを指導した、

3、資機材点検、補充

6月、9月、12月、3月の4回、発電機、ポンプ、防災無線機、延長ホースなどの点検を行った

今年は特に、発火場所から消火栓までの距離を考慮したホース本数のシミュレーションを行った

2016年度は発電機（2.3Kw）布担架（6枚）、物置き、防災書籍を購入し、市から補助を受けた

発電機は災害時自治会館の停電に備え、布担架は屋内から屋外への搬送に備えるものです

4、火の用心巡回

自治会と協力して12月、1月に14回行った

参加人数は22名であり、毎回8名ずつ2班に分けて約

1時間かけて松風台を巡回しました

途中、応援の掛け声、キャンディなどの差し入れがあり

寒い中、暖かい気持ちになりました



この防災会だよりは、下記の広告主により600部無償で印刷されました。

広告欄

地元の皆様に
奉仕する

処方せんは地元のかかりつけ薬局に！

鶴が台団地入口 **タマノ薬局**

マルエツ並び **タマノ薬局ライト店**

松風台入口 **くすりの玉野**

高田 1-14-6 TEL0467-53-2029

香川 1-11-27 TEL0467-51-1237

香川 1-38-18 TEL0467-54-7622